

論点等説明シート

事業名	医療提供体制設備整備交付金				
予算の状況 (単位:百万円)		令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	補正後予算額 (前年度からの繰越等を含む)	28,909	17,200	0	0
	執行額	28,909	17,200	0	
	執行率	100%	100%	—	

事業についての論点等

(事業の概要)

社会保険診療報酬支払基金に医療情報化支援基金を創設し、以下の事業を行う。

- ①オンライン資格確認の導入に向けた医療機関・薬局等のシステム整備の支援
オンライン資格確認を円滑に導入するため、保険医療機関・薬局等での初期導入経費(システム整備・改修等)を補助
 - ②電子カルテの標準化に向けた医療機関の電子カルテシステム等導入の支援
国の指定する標準規格を用いて相互に連携可能な電子カルテシステム等を導入する医療機関での初期導入経費を補助
 - ③電子処方箋の導入に向けた医療機関・薬局のシステム整備等の支援
電子処方箋の導入に必要な医療機関・薬局での初期導入経費(システム整備・改修等)を補助
- ※①は令和7年度で基金事業の新規申請受付を終了している。

(論点)

- ・電子カルテについて、これまでの導入促進に向けた取組、医療機関やベンダーの負担、システム更改のタイミング等を考慮・分析した上で、より効率的・効果的に普及させるための手法を検討する必要があるのではないか。
- ・電子処方箋について、新たな目標の達成状況を確認しつつ目標達成に繋げるため、「患者の医療情報を共有するための電子カルテを整備する医療機関のうち電子処方箋が導入された施設数」等の中間アウトカム等の成果指標を検討する必要があるのではないか。
- ・現在は電子カルテ、電子処方箋の導入率を成果指標として設定しているが、導入後に医療現場にどのような効果をもたらされているかを測る指標も検討する必要があるのではないか。

※参考:現在の成果指標等

アクティビティ	医療機関の標準規格準拠対応電子カルテシステム導入に係る補助							
アウトプット	活動目標	医療機関の標準規格準拠対応電子カルテシステム導入に係る補助			活動指標	医療機関の標準規格準拠対応電子カルテシステム導入に係る補助(導入した施設への補助金交付数) ※2025年度実績は集計中		
	定性的なアウトカムに関する成果実績	—			実績/目標/見込みの根拠として用いた統計・データ名(出典)	—		
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	—			アウトカムを複数段階で設定できない理由	—		
活動・成果目標と実績	当初見込み/目標値(件)	2024年度		2025年度		2026年度		
	活動実績/成果実績(件)	40		40		40		40
		0		—		—		—
↓後続アウトカムへのつながり	標準化された情報及び標準交換方式で医療情報等を送信・取得する仕組みを電子カルテシステムに導入した保険医療機関の導入経費を補助しており、これにより、電子カルテ上の傷病名、アレルギー情報、感染情報等の医療情報や当該情報を踏まえた診療情報提供書、退院時サマリーといった文書情報を医療機関の間で共有することによる。							
短期アウトカム	成果目標	電子カルテ情報共有サービスの運用施設の増加			成果指標	電子カルテ情報共有サービスの運用施設 ※2025年度実績は集計中		
	定性的なアウトカムに関する成果実績	—			実績/目標/見込みの根拠として用いた統計・データ名(出典)	医療施設調査		
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	—			アウトカムを複数段階で設定できない理由	—		
活動・成果目標と実績	当初見込み/目標値(件)	2024年度		2025年度		2026年度		
	活動実績/成果実績(件)	—		—		—		30
	達成率(%)	0		—		—		—
↓後続アウトカムへのつながり	電子カルテ情報の標準化を実現した医療機関から順次、電子カルテ情報共有サービスを利用することにより、その結果、標準化に対応した電子カルテを導入するメリットが医療機関側でより認識されることが見込まれるため、これにより電子カルテの導入率の増加を図る。 なお、E B P Mアクションプランでは、最終アウトカム指標として、切れ目なく質の高い医療の効率的な提供、医療機関等の業務効率化を設定しているが、医療D Xの進展の中で最終的なアウトカムとして定量的なものは定められていない。 総なべての医療機関において、必要な患者の医療情報を共有するための電子カルテの導入を達成した結果として、切れ目なく質の高い医療の効率的な提供や医療機関等の業務効率化が図られることが考えられることから、長期アウトカムとして、医療情報を共有するための電子カルテの導入率を成果指標に設定している。							
長期アウトカム	成果目標	遅くとも2030年には、概ねすべての医療機関において、必要な患者の医療情報を共有するための電子カルテの導入を目指す			成果指標	医療情報を共有するための電子カルテの導入率		
	定性的なアウトカムに関する成果実績	—			実績/目標/見込みの根拠として用いた統計・データ名(出典)	医政局医療情報担当参事官調べ		
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	—			アウトカムを複数段階で設定できない理由	—		
活動・成果目標と実績		2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	最終目標年度 2030年度
	当初見込み/目標値(%)	—	—	—	—	—	—	100
	活動実績/成果実績(%)	—	—	—	—	—	—	—
	達成率(%)	—	—	—	—	—	—	—

アクティビティ	医療機関・薬局への電子処方箋導入に係る補助				
アウトプット	活動目標	医療機関・薬局等の電子処方箋導入に係る補助		活動指標	医療機関・薬局等の電子処方箋導入に係る補助（導入した施設への補助金交付件数）
	定性的なアウトカムに関する成果実績	-		実績/目標/見込みの根拠として用いた統計・データ名（出典）	-
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	-		アウトカムを複数段階で設定できない理由	-
活動・成果目標と実績		2023年度	2024年度	2025年度	2026年度
	当初見込み/目標値(件)	215,630	237,200	237,200	237,200
	活動実績/成果実績(件)	4,899	49,634	79,327	-
↓後続アウトカムへのつながり	関係システム（電子カルテやレセプトコンピューター）の改修を行った医療機関・薬局での初期導入経費（システム整備・改修等）を補助することにより、電子処方箋導入施設の増加に資するため。また、電子処方箋はオンライン資格確認のシステム基盤を利用していることから、オンライン資格確認導入済み施設を母数とした割合をアウトプットとしている。				
長期アウトカム	成果目標	電子処方箋導入施設の増加		成果指標	オンライン資格確認を導入した施設のうち電子処方箋運用開始施設の割合
	定性的なアウトカムに関する成果実績	-		実績/目標/見込みの根拠として用いた統計・データ名（出典）	厚生労働省医薬局調べ
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	-		アウトカムを複数段階で設定できない理由	電子処方箋について、医療機関・薬局に、2025年3月までにオンライン資格確認を導入した概ね全ての医療機関及び薬局への導入を目指すこととされた骨太方針2022から、早期の導入を推進しているため、短期・中期のアウトカム設定は困難。
活動・成果目標と実績		2023年度	2024年度	2025年度	最終目標年度 2026年度
	当初見込み/目標値(%)	-	99	99	99
	活動実績/成果実績(%)	9.3	30	39	-
	達成率(%)	-	30.3	39.4	-
事業に関連するKPIが定められている取組決定等	名前	-			
	URL	-			
	該当箇所	-			